

夏の風物詩盆踊り大会 趣向を凝らした仮装で盛り上がる

洞爺湖温泉夏祭りの恒例イベント、仮装盆踊り大会が8月15日洞爺湖汽船本社前特設会場で開かれ、多くの人で賑わいました。仮装盆踊り大会は、5チームが参加し、サッカーのワールドカップ、ディズニーのキャラクターなど趣向を凝らした衣装で会場を沸かしました。

仮装大賞(優勝)に輝いた家族チーム「イモト姉妹とトウロンくん兄弟」は「去年は準優勝だったので、今年は優勝を目指しがんばりました」と喜びをあらわにしていました。その他の成績はつぎのとおり。

仮装賞(準優勝)トイストーリー4(伊達市)/準仮装賞 洞爺湖にミッキーマウスがやってきた(札幌市)



仮装大賞のイモト姉妹とトウロンくん兄弟チーム

洞爺湖のいきものがし みずうみで遊ぶ

洞爺湖に住む生きものを探そう!をテーマに、8月21日「みずうみ遊び」(主催洞爺湖ビジターセンター)が洞爺湖畔で行われ、



水につかりながら生きものを探す子どもたち

親子連れ9人が参加して暑い夏の1日を楽しみました。

同センターに集合した参加者は、準備作業としてペットボトルを半分に切って、水の中を観察する箱メガネと生きものを探す、道具作りを行いました。

その後、珍小島まで移動し、自分で作った道具を使って湖にいる生きものを探しました。

参加した子どもらは、服がぬれるのも気にせず、一心不乱に、箱メガネで湖底を覗いていました。

エゾシカ対策協議会幹事会開く 効果的なわなの技術を学ぶ

8月24日全道エゾシカ対策協議会(会長・多田健一郎道副知事)の第2回捕獲技術幹事会が、役場の防災研修ホールで開かれました。道内の自治体職員や猟友会メンバーなど約70人が参加して、実践的なわなの技術を学びました。

当日は、NPO法人ファーミングサポート北海道の原田勝男代表理事の講演とわなメーカーの担当者からくりわなの説明が行われました。

講演終了後、役場敷地内でわなメーカーと原田さんがそれぞれくりわなの実演を行い、参加者は、食い入るようにその設置の方法を見ていました。



わなの実演に見入る参加者たち

第21回洞爺湖町水泳選手権競技大会が、8月28日洞爺湖町民プールで開かれ、児童、生徒ら32人が参加し、各種目に挑みました。

同大会は、相手と競う方法ではなく、自己記録の更新を目指すタイムレースで、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの各25m、50m、100mなど、12種目のレースが繰り広げられました。



スタートを決める選手たち

選手らは、応援に駆けつけた父母らからの熱い声援を受け、果敢に記録に挑戦し、2人が自己記録を更新しました。

記録更新に挑み力泳 第21回洞爺湖町水泳選手権競技大会



まちのわだい